



ジャカラнда

Jacaranda

ナミビア・オマルル通信NO.15

2023.05.21

JICA海外協力隊

とよたももこ 豊田桃香

にほん

日本のおどりをおどったよ

みなさん、こんにちは。

先日、先生のいるウバセン小学校に新しい校長先生がやってきました。1年以上、別の先生が代わりに校長先生の役を担っていて、ようやく正式に校長先生が決まりました。そこで、『校長先生私たちの学校へいらっしゃい』という意味をこめて、ウェルカミングパーティが開かれました。

そこで、何人かの子どもたちと日本の伝統的なダンスをおどってほしいとお願いされました。なやんだ結果、『ソーラン節』（南中ソーラン）に決めました。（コロナ前までは、5・6年生が毎年運動会でおどっていましたね。）練習時間が短いことと、おどるのが3年生ということもあり、少し短く簡単なバージョンにしましたが、一生懸命練習して、楽しくおどってくれました。



ソーラン節とは？

*北海道発祥の民謡 *ニシン漁の歌 *ヤーレンソーラン、どっこいしょなどのかけ声が特徴

子どもたちにもなるべくイメージしやすいように、「ここは魚を網でとっているところだよ」「ここはロープを引っ張る感じ」などと伝えて、大きく力強くおどってもらいました。

ウェルカミングパーティでは、他にも子どもたちがいくつかの民族グループに分かれて、その民族の伝統的なダンスを披露しました。音楽をかけておどるダンスもあれば、自分たちで歌ったり代表の子が太鼓のようなものをたたいてリズムをとったりしているグループもありました。詳しくは、「世界日記」にも書いています。興味があれば読んでくださいね。

URL : <https://world-diary.jica.go.jp/toyotamomoko/cat2589/12.php>